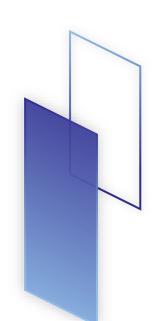


ホスピタルショウ注目技術をざっくり解説!

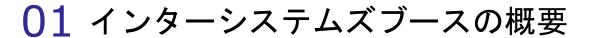
インターシステムズ最新情報







Agenda



02 広域/多職種EHR連携 利活用ソリューション

03 FHIR to OMOP

04 医療デバイスモニタリングソリューション

05 関連ウェビナー、ビデオの紹介

06





	7月16日(水)		7月 <b>17</b> 日(木)		7月18日(金)
12:30 - 12:45	つながる医療・福祉:NY州の事例に学ぶ"使える"ケア連携とは? インターシステムズジャパン株式会社 シニアンリューションアーキテクト 上中 進太郎	11:00 - 11:15	つながる医療・福祉:NY 州の事例に学ぶ"使える"ケア連携とは? インターシステムズジャパン株式会社 シニアソリューションアーキテクト 上中 進太郎	11:00 - 11:15	医療安全、医療従事者の働き方改革をサポートする InterSystems IRIS for Healthを使用したスマートポンプ連携のご紹介 テルモ株式会社 メディケーションマネジメントグループ デジタル・ハリューションチーム 関岡 修 B インターシステムズジャパン株式会社 皆本 総彦
<b>13:00</b> - 13:15	医療情報活用の最新事例ご紹介 〜医療情報連携ブラットフォーム〜 株式会社インテック 医療ソリューション事業本部 医療ソリューション営業部上級プロフェッショナル 糸藤 一郎 ほ	<b>11:30</b> - 11:45	様々な医療 DX サービスを 安全・安心に利活用できる世界へプラグイン! 株式会社AIHOBS 代表取締役 非営利共益法人 医療AIフラットフォーム技術研究組合(HAIP) 理事長 八田 泰秀 母	<b>11:30</b> - 11:45	「がまっと!」事業における医療・介護・保健データ統合とEHR/PHRの双方向連携アプローチ ~ 病院内データ統合ノウハウを全面活用したデータ統合基盤(IDF)が導く地域ヘルスケアDX推進 ~ 株式会社 ホスピタルインテリジェンス 取締役・アーキテクト 飯田 征昌 8 上級医療情報技師(日本医療情報学会) 一般社団法人 SDMコンソーシアム理事
13:30 - 13:45	共通データモデル OMOP の活用と展望 株式会社カッパ・メディカル 代表取締役 浅尾 啓子 #	<b>13:30</b> - 13:45	世界で広がる FHIR IPSの診療情報共有ネットワーク — 日本はどうする!? — 日本IHE協会 副理事長 接続検証委員長 塩川 康成 #	13:00 - 13:15	Hospital Managed Service 〜医療機関のセンタ・オブ・エクセレンスサービス〜 デロイトトーマッコンサルティング合同会社 ライフサイエンス & ヘルスケア ディレクター 北原 雄高 #
13:45 - 14:00	~FHIR × OMOP CDMで広がる 医療データの価値~ InterSystems OMOPのご紹介  インターシステムズジャパン株式会社 古鷹 知子	<b>14:00</b> - 14:15	医療機関におけるシステム間連携の効率化  公益財団法人ちば県民保健予防財団 情報管理部参事 兼システム管理課長 倉内 誉仁 様	<b>13:30</b> - 13:45	医療データの一元化を目指して - 心電図・透析情報など FHIR 活用した医療データの統合一 東北大学大学院 医学系研究科 医学情報学分野 教授 中山 殖崎 #
14:30 - 14:45	DX?FHIR?AIによる時間短縮の実現? それには「データベースマッピング」が不可欠です! 群馬大学医学郎馬姨院システム統合センター副センター長 准教授 防衛医科大学校、デジタル化推進本部推進補佐官 鳥飼 幸太 #	<b>14:30</b> - 14:45	CANON電子カルテソリューション「HAPPY ACTIS」で紹介  キャノンITSメディカル株式会社 ヘルスケアIT事業節第一ンリューション本部 営業部営業第二課課長代理 長台川智之は	<b>14:00</b> - 14:15	Abierto Cockpitを利用した看護業務改善  JCHO 北海道病院 看護部 副看護師長 菊池 安絵 様
<b>15:00</b> - 15:15	SIP第3期「統合型ヘルスケアシステムの構築」における 「がん診療についての統合的臨床データベースの社会実装」 〜研究開発概要 と 目指すデータ基盤〜 公益財団法人がん研究会 有明病院 医療情報部 副部長 データベース開発室 室長 鈴木 一洋 ほ	<b>15:00</b> - 15:15	なぜ今〇M〇Pなのか?医療情報活用の課題と解決策 愛媛大学 大学院 医学系研究科医療情報学講座 教授 兼 医学節附属病院医療情報部 部長 木村 映着 #	14:30 - 14:45	OMOP 共通データモデルの活用 — 現状と課題、今後の展望 国立がん研究センター東病院 医療情報部長 兼 臨床研究支援部門 臨床研究推進部 システム管理室長 青柳 吉博 #
<b>15:30</b> - 15:45	ミドルウェアで実現した働き方改革事例: 〜正しいコスト算定のための役割分担〜 千葉大学医学部附属病院 病院長企画堂 特任講師 土井 俊祐 #	<b>15:15</b> - 15:30	~ FHIR × OMOP CDM で広がる 医療データの価値 ~ InterSystems OMOPのご紹介 インターシステムズジャパン株式会社 古薗 知子	<b>14:45</b> - 15:00	~FHIR × OMOP CDMで広がる 医療データの価値~ InterSystems OMOPのご紹介 インターシステムズジャパン株式会社 古薗 知子
16:00 - 16:15	医療現場で進むIoT活用と医療DXの実現に向けた データ連携ソリューション TOPPANエッジ株式会社 IDビジネス統括本部 統括本部長 岡 正俊 #	<b>15:45</b> - 16:00	医療情報活用の最新事例ご紹介 ~医療情報連携ブラットフォーム~ 株式会社インテック 医療ソリューション事業本部 医療ソリューション営業部上級プロフェッショナル 糸藤 一郎 ほ	<b>15:15</b> - 15:30	CANON電子カルテソリューション「HAPPY ACTIS」ご紹介 キャノンITSメディカル株式会社 ヘルスケアIT事業部 第一ソリューション本部 営業部 営業第二課 張替 勇樹 8
16:30 - 16:45	医療安全、医療従事者の働き方改革をサポートする InterSystems IRIS for Healthを使用したスマートポンプ連携のご紹介 テルモ株式会社 メディケーションマネジメントグループ デジタルノリューションチーム 関岡 修 様 インターシステムズジャパン株式会社 皆本 稔彦	<b>16:15</b> - 16:30	Hospital Managed Service <b>~医療機関のセンタ・オブ・エクセレンスサービス〜</b> デロイトトーマツコンサルティング合同会社 ライフサイエンス & ヘルスケア ディレクター 北原 雄高 ほ	<b>15:45</b> - 16:00	つながる医療・福祉:NY州の事例に学ぶ"使える"ケア連携とは? インターシステムズジャパン株式会社 シニアソリューションアーキテクト 上中 進太郎

こちらのURLからプレゼン動画を見ることができます。

https://www.intersystems.com/jp/hospital-show-2025-presentation/



広域/多職種 EHR連携・利活用 ソリューション HealthShare製品のご紹介

## HealthShare 関連製品



HealthShare Health Connect システム連携

医療サービスバス

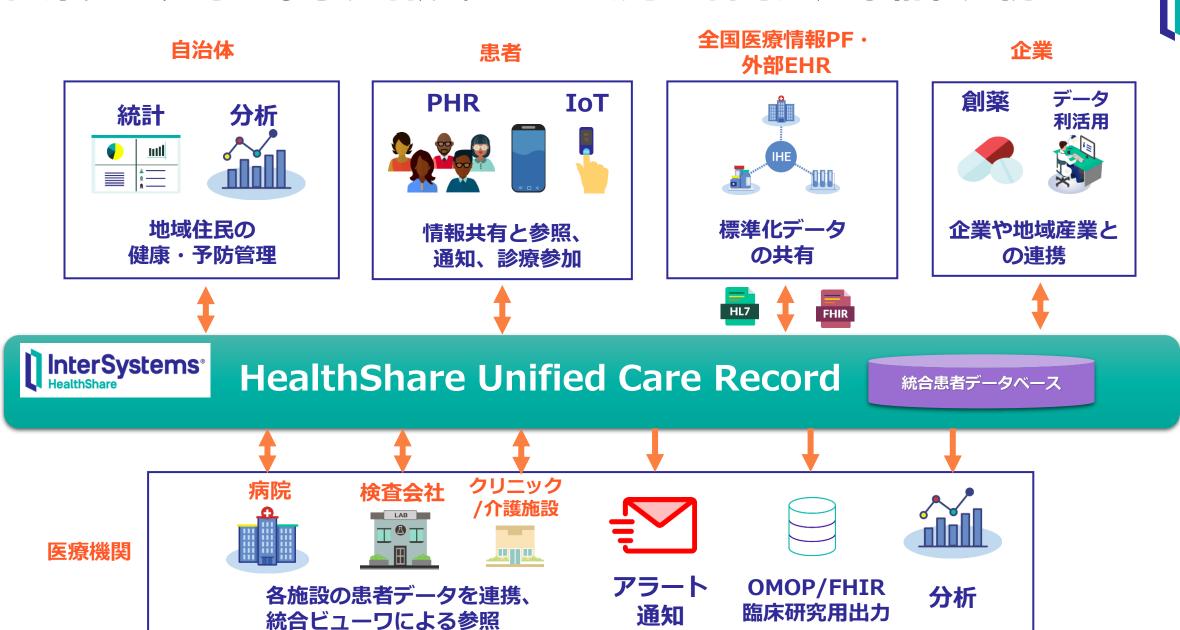
HealthShare Health Insight 分析 HealthShare Care Community ケアの状況 提供状況の共有 HealthShare Personal Community 患者自分自身の 情報参照

InterSystems EMPI 名寄せ

HealthShare Unified Care Record (基本モジュール)

臨床用画面 / アラート通知機能 / 同意管理 / 用語・コード管理

## 医療データをつなぎ、活かす ― 地域と患者を支える情報連携基盤



# よくある地域医療連携とどう違うの?



#### • 情報共有のポリシーが細かく設定できる

- 特定疾患の情報を見せない
- 施設ごとに見せられる情報を制御できる
- 患者同意の元、医師ごとに見せられるかを設定可能

#### アラートが細かく通知できる

- かかりつけ医、薬局への通知
- 術後の容体を通知
- 過剰な検査、処方、処置を通知

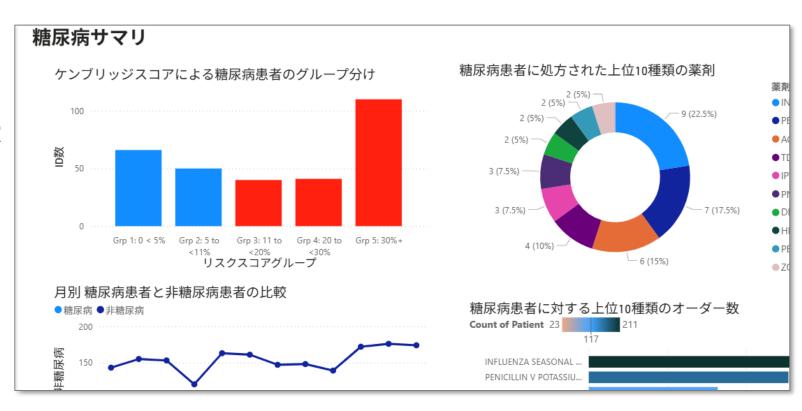
#### • 他システムとの連携が容易

- 病院内のシステムとの連携
- 患者様が契約しているPHRとの連携

# Health Insightを使用した分析



- Health Insight
  - Unified care recordにて収集した情報を分析するための基盤
  - ●匿名化も可能
- PowerBIによる ダッシュボート表示
  - ●病院業務の分析
  - ●疾患別の分析



## お知らせ



弊社ホームページにブースプレゼンの内容を公開しています

つながる医療・福祉: NY州の事例に学ぶ"使える"ケア連携とは?



医療用サービス基盤・アプリケーション開発プラットフォーム IRIS for Healthを使用した FHIR to OMOP関連サービス

# OMOP CDM: 国際的に最も普及している研究用データモデル



Observational Medical Outcomes Partnership (OMOP)

- 2008年に設立
- FDA(米国食品医薬品局)、複数の製薬企業、医療提供者による官民連携プロジェクト
- 当初の目的:観察データを用いた医薬品の安全性監視における課題と限界の克服

OMOP共通データモデル(OMOP CDM)は、2014年設立のOHDSI(Observational Health Data Sciences and Informatics )によって採用・発展

OMOPは、80カ国以上・4,000以上の組織で広く採用されている







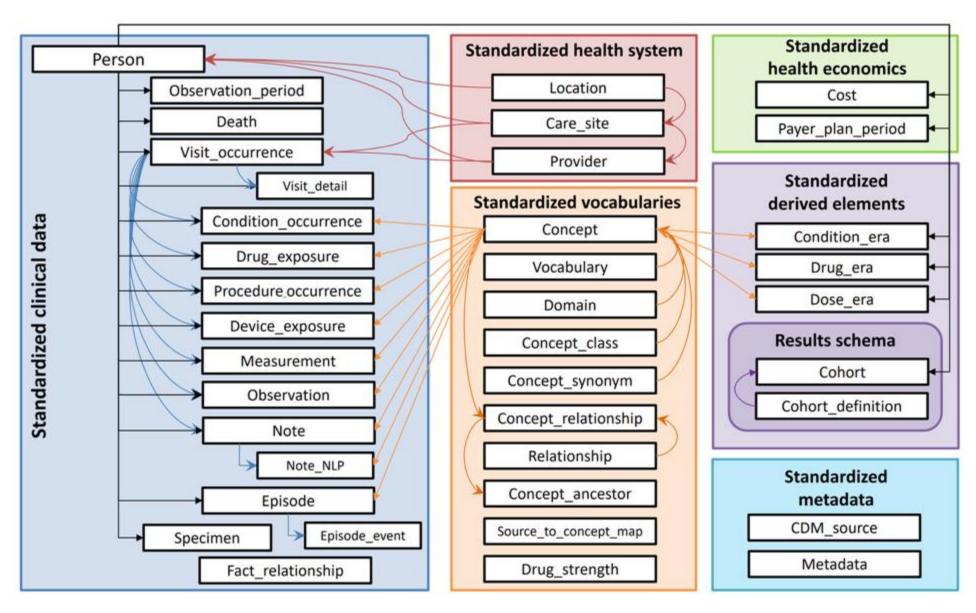






### **OMOP Common Data Model**





## OMOP CDMのココが便利!



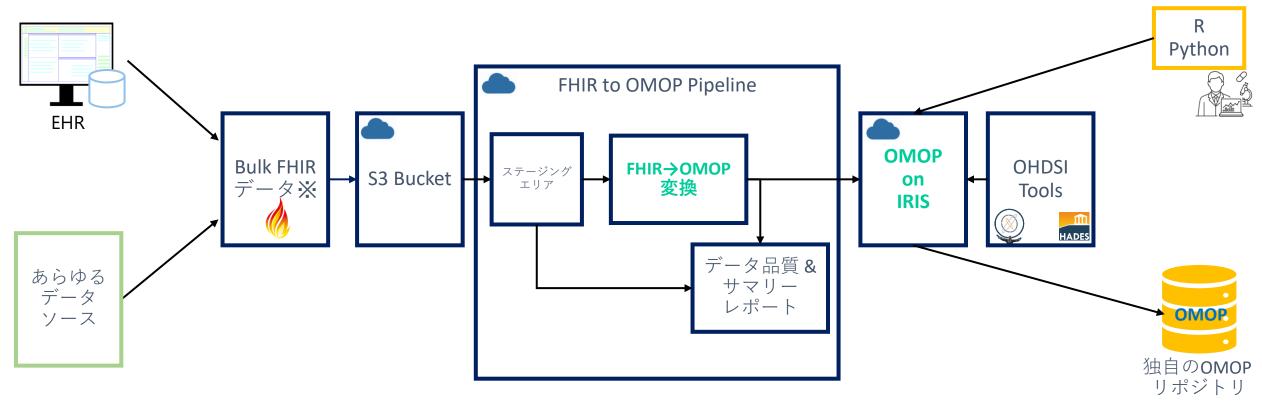
- 難病など症例の少ないデータを全世界から効率よく集められる
  - 男性の乳がん分析
- ◆分析ツールが共通化できるので、分析手法の共通化が進みやすい

ただし、OMOP への変換が必要

#### FHIR to OMOP変換ソリューション



FHIRデータを入力として受け取り、自動的に変換してOMOPリポジトリに格納

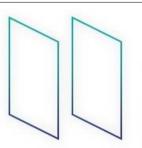


異なる患者コホート毎の 複数インスタンス



### 詳細は...





インターシステムズ 第5回 ソリューション ウェビナー

「~FHIR×OMOP CDMで広がる医療データの価値~ InterSystems OMOPのご紹介」

#### 2025年9月3日(水)午後1時30分~2時

参加費無料·事前登録制

#### 【概要】

OMOP CDM (Observational Medical Outcomes Partnership Common Data Model) は、医療データの二次利用、特に臨床研究やリアルワールドエビデンスの創出において強力な基盤となる、国際的な標準データモデルです。OMOP CDMの概要をご紹介するとともに、FHIRからOMOP CDMへの変 換を実現する「InterSystems OMOP」ソリューションについて、デモを交えてご紹 介いたします。

OMOP CDMに関心のある方はもちろん、FHIRデータの出力意義や活用方法に ついて検討されている方も、是非ご参加ください。

#### 【こんな方にお勧め】

- ・医療データの標準化や利活用に関心のある方 ・医療機関や製薬会社でデータ管理や分析に携わる方 ・FHIRやOMOP CDMを活用したデータ連携・分析に携わる方

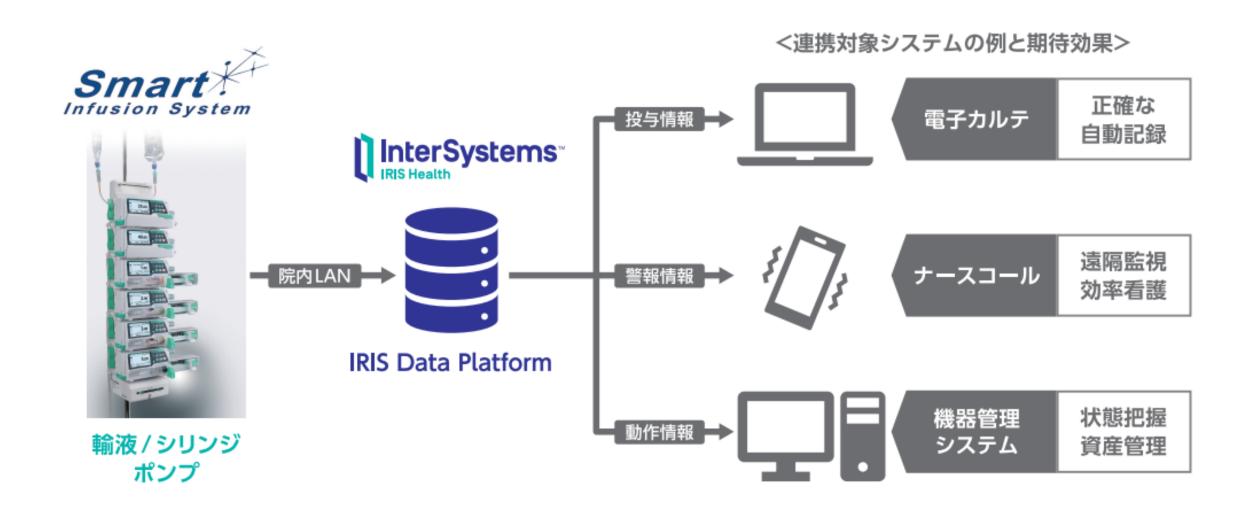




医療デバイスモニタリング ソリューション

### IRIS Data Platformを介した様々な院内システムとの接続

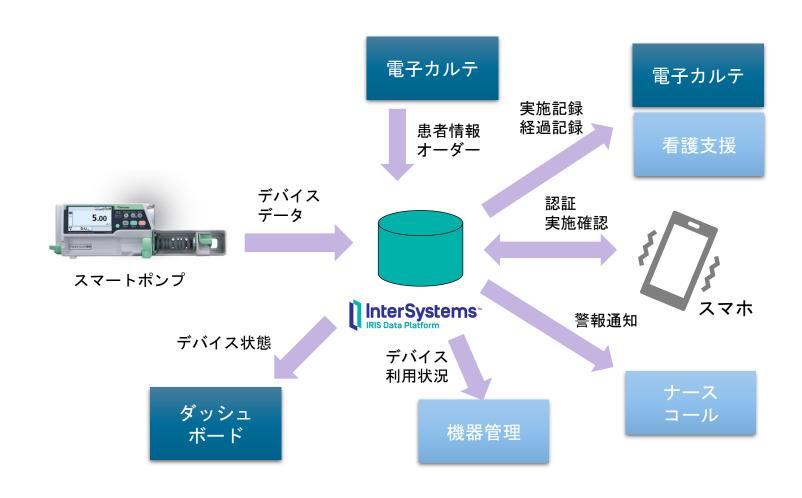




# 連携ソリューション システム構成



スマートポンプ監視と電子カルテ、看護支援システム連携



# スマホのカメラ機能を使ったQRコード認証



● スマホアプリで患者、ポンプ、薬剤のQRコードを読み取り、確認

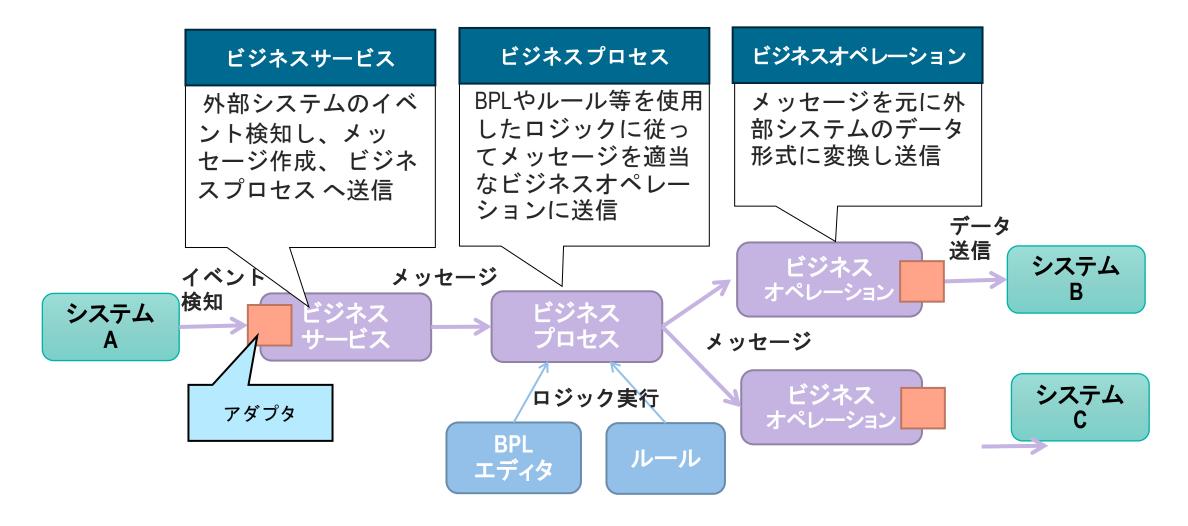




# Interoperability



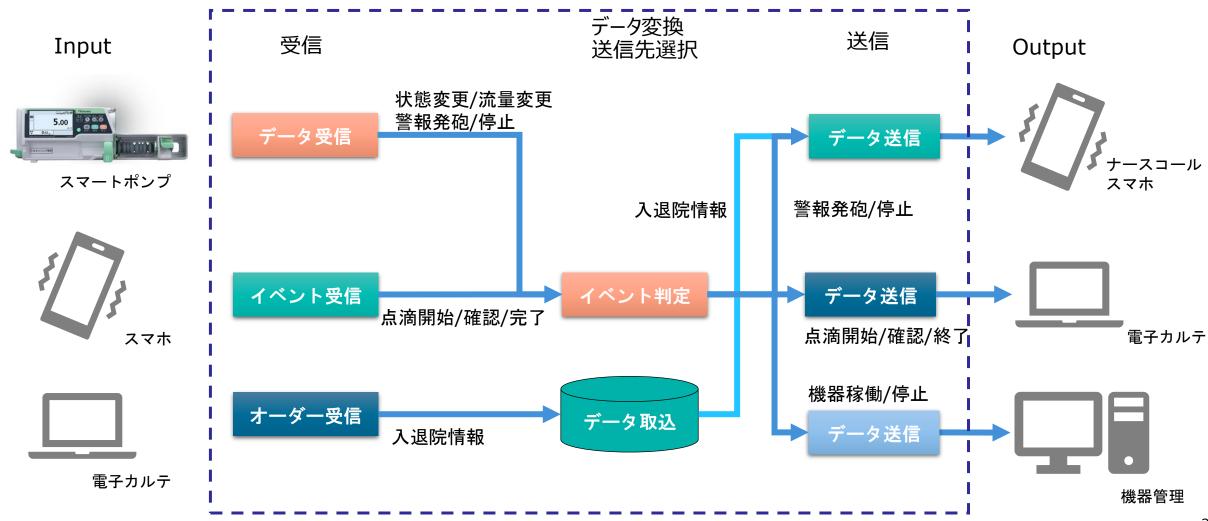
# 主なコンポーネントの役割



# 情報を連携させるインターオペラビリティ



様々なイベントを捉え、その時点で外部システムに送信







# パッケージソフトとの違い



- 病院の業務に合わせてカスタマイズしやすい。
  - 患者認証方法の変更
- ●通知先を自由に選べる
  - 確認時点の流量や積算量を看護支援システムにも送付
  - 警報発生時に担当看護師にも通知したい
- 検査結果など他のデータとの連携も可能
  - 投与量と検査値との関連性を分析

